

南砺市桜ヶ池エリアにおけるインタープリテーションと実践

団体名●石川ゼミナール／代表者名●石川美澄（経済学部地域システム学科・教授）

はじめに(背景・目的・目標)

本活動の目的は、南砺市桜ヶ池エリアにある公共施設「南砺市クリエイタープラザ」(以下、桜クリエ)におけるインタープリテーションのあり方を検討し、その具体的なツールを制作し試験運用することである。インタープリテーションのツールとしては、桜ヶ池周辺のマップと木製キーホルダーの2つとした。

桜ヶ池周辺は、現在大規模な区画整備や観光開発が進んでおり、2026,27年には複数の施設が完成予定である。このような状況下において、桜ヶ池周辺における Visitor Information の機能の必要性が高まっている。

活動内容

主な活動は、桜ヶ池サービスエリア周辺における観光情報に関する現地調査、連携相手である PARUS (一般社団法人地域発新力研究支援センター) に対するヒアリング(6月、6名参加)、Zoom による PARUS との打ち合わせ(複数回、8名参加)、木製キーホルダー製造に関して株式会社長田組との交渉と最終調整(8,12月、2名参加)、お披露目会の実施(2月開催予定、5名参加予定)である。

成果、結果の考察

本活動を通して、桜ヶ池周辺マップ「いけっぷ」(A4サイズ3つ折り両面カラー印刷)と木製キーホルダー「桜ヶ池カプセル」(数量限定、1回500円)を完成させることができた。前者については、掲載企業ならびに周辺の協力店での設置を行う予定である。後者については桜クリエにカプセル型機械を設置し、老若男女問わず来訪者に楽しんでもらう予定である。

「いけっぷ」では、現在工事が進んでいる桜ヶ池周辺の新たな動きについても記載し、「桜ヶ池カプセル」では富山県産の端材と五箇山和紙を使い、南砺市の見所や特産品を紹介するという内容とした。

今後の課題、展望

今後の課題としては、「いけっぷ」の更新作業を誰が行うか、「桜ヶ池カプセル」が在庫切れになった場合はどのように対応するか等々の継続性について検討しなければならない。



写真1: 「いけっぷ」の表面



写真2: PARUS・長田組・石川ゼミによる打ち合わせ



写真3: 「桜ヶ池カプセル」の表面